女性社員3人が合格

高山電業　第二種電気工事士試験

須坂市の高山電業（藤沢仁社長）の女性社員3人が2019年度の第二種電気工事士試験に初挑戦し、3人そろって合格を果たした。挑戦したのは山田晴美さん、市村京子さん、丸山絢女さんの3人。いずれも事務職で、工具を使った実務経験などはなく、今年度、ゼロからの挑戦だった。同社は基本方針に「自己の研鑽と修練」を盛り込み、行動理念に「向上心を持って資格試験に挑戦」を掲げるなど、日頃から資格取得などを応援する社風を持っている。

近年は電気施工管理技術試験で女性合格者の人数や比率が過去最高を記録するなど、資格試験等での女性技術者の躍進がめざましいが、こうした追い風のなか、同社男性社員が電気工事士試験や施工管理技術検定を受ける姿をみていた3人は「3人が一緒に受検するなら」と第二種電気工事士の資格試験を受けることを決めた。同社も「女性活躍社会の実現のためにも」と学科や実地の指導や模擬試験など全面的にバックアップした。

3人は、試験問題を見るのも工具を持つのも初めてで、特に実地試験では、中型のリングスリーブの圧着など「女性の力ではなかなか上手くいかなかった」など、苦労も多かった。それでも3人が力を合わせ、時に競い合い、業務終了後や休日なども練習に励み、10月の筆記試験、12月の技能試験を初挑戦でクリア、見事3人とも1月17日の合格発表に名前が載った。

同社では、これまでもそれぞれ目標を定めて電気工事士試験や電気工事施工管理技術検定に挑戦しており、藤沢社長は「資格試験への挑戦という理念のもと、女性社員も主体性をもって勉強に取り組める環境にあることをうれしく思う。さらに風通しの良い職場を目指す一方、女性活躍社会の実現、現場で活躍する女性技術者の育成につながれば」と話していた。【倉石秀樹】

第二種電気工事士試験に合格した（左から）山田さん、市村さん、丸山さん

長野市組織見直し

長野市は6日、2020年度の組織・機構の見直しとして、マリッジサポート課を企画政策部の人口増推進課へ統合し、同課内に「マリッジサポート室」を附置すると発表した。若者に対する結婚支援対策と、"カムバックtoながの"をキーワードとして取り組む移住・定住を高め、両推進課にマリを附置し（し尿）から処に対応資源再生セン課の配付ける

長野市に20万円寄付

河川敷グラウンド復旧を

長野篠ノ井LC少年野球チーム

長野篠ノ井ライオンズクラブ（LC、田中孝和会長＝ルックス社長）と西寺尾ライオンズ少年野球チームは14日、長野市に台風19号災害復旧費用を贈呈した。田中会長、同野球チームの代表選手、東方みゆき市議らが長野市役所を訪れ、加藤久雄市長に20万円を手渡した。

昨年10月に発生した参加した長野市や千曲市にある27の少年野球チームから約10万円が集まった。長野篠ノ井ライオンズクラブは、毎年行っている河川敷清掃でチームと交流があったことから寄付金活用の相談を受け、台風で中止となった今年度の河川敷清掃の予算から約10万円を加えた20万円を市に寄付することを決めた。

同LCメンバーでライオンズクラブ334E（長野県）地区元地区ガバナー・地区名誉委員長の宮下満栄（第一包装は「子グラウた他チ痛めて ちと保き、ラとして力しよ述べ、一ムの清テン（19選手（同できなにも、ラウン く復旧してほ込めた た。

加藤対しそ

長（前列中央）と宮下元地区目）、田中会長（同3番目）ら

県宅建協

義援金150万円贈呈

県宅地建物取引業協会（長澤一喜会長＝長野都市計画社長）は14日、県に台風19号災害の被災者支援のための義援金150万円を寄付した。長澤会長、小野仁専務理事らが県庁を訪れ、太田寛副知事に目録を手渡した＝写真。

長澤会長は「住まいを失った被災者の支援には、今後不動産などソフト面の支援が重要になる。新たな生活を始める際に、われわれ宅建業界が行政や地域の皆さんの役に立ち、ともに発展していきたい」とあいさつ。

太田副知事は「今回の災害では、協会の皆さんにはみなし仮設住

5件減の16件　全国10位

19年上半期の県内工場立地

県が4日発表した2019年上半期（1～6月）工場立地動向調査結果によると、製造業等の事業者が工場や研究所を建設する目的で1千㎡以上の用地取得（借地含む）を行った立地件数は、前年同期比5件減の16件となり、2年連続で減少しは、上伊那が4件、次いで諏訪が3件、上田と南信州、長野がそれぞれ2件、佐久と松本、北アルプスが各1件だった。

用地取得面積は34・1ha増の49・8haで、前年同期の34・1haから大幅に増え、全国順位は2位の広さだっ